筑紫丘高校同窓会会報

第 49 号
発行　筑紫丘高校同窓会
福岡市南区野間２－13－１　〒815－0041
電　話092(561)0662
ＦＡＸ092(561)0663
ホームページ http//www.chikushigaoka-dousoukai.com/
印刷　西日本新聞印刷

同窓会HP
「QRコード」

『記念館』で心一つに

田中会長　被災地支援にも協力を

田中義明会長

会員の皆さまには、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

本年2月28日、第63回卒業生399人の同窓会入会式を役員諸氏の同席のもとで行いました。これで卒業生は総計3万4509人となり、名実共に県下名門校の仲間入りするところまで成長してまいりました。今後は肥大化する同窓会をいかに機能的、効率的に運営していくかが課題となります。

さて同窓会の目的は、会則2条にあるように会員相互の友誼を深めることと母校の発展に寄与することです。

会員相互の友誼を深めるためには各卒業年会、職域会、支部などがあり、すでにそれぞれの会が特色を出しながら活発に動いていただいています。

母校の発展に寄与する件に関しては、昨年度まで毎年、財団法人筑高協会を通して200万円を教育活動費、教育施設整備費として援助してきました。

しかし、筑高協会が解散した本年度からは同窓会から直接援助することとなりました。とくに前年度は財団の基本財産である学校林の売却益があり、別途、家庭経済環境の急変によって進学費用捻出が困難になった生徒へ「教育支援金」として支給しました。この支援金については教育援助事業実行委員会(同窓会長・事務局長、校長・両教頭・事務長、PTA会長で構成)が校内教育支援金選考委員会で選考推薦した11人に各10万円を支給しました。

また、念願の記念館は7月ごろには完成予定です。この記念館は在校生、教職員、同窓生、地域の人々に利用してもらい、事務局と一体となった筑高同窓会のセンターとしての役割を担わせたいと思っています。

最後になりましたが、未曾有の東日本大震災には皆様も心を痛めておられると存じますが、34回生が募金活動を計画してくれています。筑高同窓会としても復興を支援すべく義援金を募っています。事務局宛に送金していただければ幸甚に存じます。

日本国の威信をかけた復興事業に共に携わりましょう。

新校長に白石氏　23年度異動

本年4月1日付の教職員人事異動で、友枝文也校長が県教育委員会に理事として昇任され、新しく県教委から白石隆佳校長を迎えました。また、退職された小林至総括教頭に代わって副校長として、古賀特別支援学校から原尚士先生が着任された。

本年度退職の数学科の三堀治夫先生(高21)は再任用として引き続き勤務。転出の先生は昇任を含めて7人おられたが、同窓職員も高29の数学科川崎一由先生は城南高校に、高30の保健体育科、三好敬子先生は早良高校に、高33の保健体育科、江濱義博先生は筑紫高校に、それぞれ転出となった。

代わって高49の数学科、秋山晋一先生を含む新規採用3人の先生方のほか、4人の先生方を迎えました。

「日本創造」一丸で人材育成

校長　白石　隆佳　着任あいさつ

本年4月、定期人事異動で県教委より筑紫丘高校に校長として着任いたしました。

校長としては教職員課人事管理主事、春日高校校長から2度目の人事管理主事となり、本校は学校としては2校目となります。筑紫丘高校同窓会の皆様には、日頃から本校教育活動に対し、物心両面にわたるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。本校は卒業生も3万5千人近くに達し、各界のリーダーとして日本だけでなく、世界にも貢献されている、多くの人材を輩出している学校とお聞きします。ご存知のように、3月11日に発生した東日本大震災によって、東北地方はもとより、日本全体の将来が危惧されている状況です。このような日本にあって筑紫丘高校の生徒として、我が国の将来をリードする人間に成長させることが、我々の使命であると感じています。

本校校歌にもありますように、日本を守護り、開拓き、創造る文武両道ができる人材育成に一丸となって取り組む所存です。今後とも、同窓会の皆様には温かいご支援をいただきますよう、お願いいたします。また、同窓会館横に念願の歴史記念館が本年度中に出来、長年にわたって築きあげてこられた思い出の品々が一同に展示されると聞き、楽しみにしています。

同窓会の皆様の今後の益々のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

全力で伝統を継承

副校長　原　尚士

4月の人事異動で古賀特別支援学校から転任して参りました。よろしくお願いします。

特別支援学校での勤務は、わずか1年でしたが多くのことを体験し、教育の広さ深さ偉大さを学びました。

筑紫丘高校には4月1日に着任し、6日の始業式、7日の入学式、8日の離退任式を通して、筑紫丘の凄さを感じました。教育の使命感に燃えた先生方と希望に満ちた向上心あふれる生徒の皆さんとが、相互に切磋琢磨し、ともに研鑽努力しようとする厳しさと温かみのある学校であると感じました。このような伝統ある清新で気品に満ちた学校に着任し、戸惑いと同時に強い心の高ぶりを覚えました。

これまで諸先輩方の積み上げてこられた並々ならぬご尽力に対し、敬意を表しますとともに汚すことがないよう、微力ではありますが全身全霊で奮闘努力する所存です。

母校で働ける嬉しさ

秋山　晋一(高49)

本年度、新規採用で本校に着任しました。本校OBで49回生です。本校で退職された城戸英敏先生が1年での担任でした。ちょうど講堂が落成した年で、きれいな建物、たくさんの友人、恩師に恵まれ、大変楽しい学校生活でした。

母校で働けるという嬉しさとともに、大きなプレッシャーも感じています。伝統を守りつつ、変えていくべきところは変えていきながら、よりよい筑高にするため、力を尽くしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

大学等合格者数

（　）内は現役　H23.4.1現在

	学校名	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
国立大学	九州大学	113(89)	120(88)	113(82)	117(82)	120(94)
	佐賀大学	15(5)	15(14)	18(7)	12(11)	18(14)
	熊本大学	14(9)	20(9)	17(16)	7(6)	11(7)
	東京大学	13(5)	7(3)	15(10)	4(2)	9(5)
	長崎大学	11(8)	8(6)	10(4)	9(5)	6(3)
	一橋大学	10(6)	3(0)	4(2)	2(1)	1(0)
	広島大学	10(5)	6(3)	10(3)	6(4)	3(3)
	京都大学	8(3)	14(8)	7(2)	13(6)	12(7)
	鹿児島大学	7(3)	5(2)	5(2)	6(1)	5(3)
	九州工業大学	8(3)	8(5)	18(12)	11(8)	8(8)
	大阪大学	5(2)	6(4)	5(4)	5(4)	5(4)
	横浜国立大学	5(2)	4(2)	2(2)	6(2)	3(2)
	神戸大学	5(2)	4(3)	6(4)	3(2)	8(4)
	筑波大学	4(2)	3(0)	9(7)	6(3)	2(2)
	東京外国語大学	4(0)	4(4)	0(0)	0(0)	4(4)
	山口大学	3(0)	4(2)	6(5)	5(2)	8(3)
	東京工業大学	3(0)	1(0)	2(2)	2(1)	0(0)
	福岡教育大学	2(2)	11(9)	15(12)	12(10)	14(11)
	北海道大学	1(1)	2(2)	3(1)	4(3)	0(0)
	宮崎大学	0(0)	3(2)	5(4)	4(2)	0(0)
公立	福岡女子大学	11(10)	6(6)	9(8)	12(12)	10(10)
	北九州市立大学	3(3)	2(0)	4(3)	5(4)	2(1)
国公立大学合計		275(170)	275(179)	306(203)	264(181)	289(204)
私立大学	西南学院大学	87(65)	126(101)	147(98)	96(79)	83(68)
	早稲田大学	48(8)	27(14)	53(24)	28(11)	34(17)
	福岡大学	47(30)	63(38)	70(34)	59(35)	65(31)
	立命館大学	47(21)	54(25)	51(14)	58(15)	47(17)
	明治大学	33(13)	20(9)	24(9)	10(3)	15(2)
	同志社大学	29(4)	41(20)	44(14)	27(6)	23(10)
	東京理科大学	26(2)	32(9)	24(6)	15(2)	9(2)
	法政大学	19(3)	10(3)	7(6)	4(3)	5(4)
	立教大学	16(4)	8(6)	8(2)	11(7)	4(2)
	中央大学	20(8)	16(2)	18(5)	20(6)	19(9)
	慶應義塾大学	13(4)	12(4)	16(6)	10(1)	13(5)
	関西学院大学	11(4)	13(7)	14(2)	3(1)	13(4)
	関西大学	8(3)	11(8)	10(5)	5(1)	2(0)
	東京農業大学	3(0)	12(5)	4(3)	0(0)	2(0)
私立大学合計		480(212)	524(292)	562(258)	407(209)	418(207)
大学校・短大学・専門学校等		12(3)	16(14)	13(13)	24(16)	26(15)

総力で難関突破

大学入試結果報告

大学入試結果について報告いたします。

平成22年3月卒業生、また平成23年3月卒業生が、その持てる力を十分発揮し、例年以上の好結果を出すことができました。

本年度は模擬試験等の途中経過が思わしくなく、非常に心配されましたが、まさに総力戦で難関といわれるほとんどの大学において、県内上位に位置する結果を残すことができました。

このような好成績を記録することができましたのも、物心両面で支援していただいた同窓会員・PTAの皆様、生徒の学習環境を最大限に整備していただいた事務室職員の方々、日祝日の生徒の自習を見守り生徒一人一人の合格を心から喜んでおられた日直職員の方々、数多くのアドバイスをいただいた昨年度3年担当の先生方、膨大な授業用指導プリントを朝から晩まで毎日立ち続けで印刷していただいた職員の方、模擬試験等の結果が思わしくないときに「結果を心配する必要は全くない。生徒の志を大切にしてください」と温かな言葉をかけていただいた校長先生・教頭先生、そして何より努力の尊さを信じ、最後まで全力で取り組んだ筑紫丘の生徒達全員の成果であると心より感謝を申し上げます。

（進路指導部）